チケット購入方法

やまぎん県民ホールでは、以下の３つの方法でチケットをご購入いただけます！

ホール事務室 カウンターにて直接購入

- スタッフが直接対応するので、インターネットが使えない、苦手な方でも安心してご購入いただけます。
- お支払い、発券までその場で完了！
- クレジットカード決済も可能
- 受付時間は10:00〜19:00（休館日をのぞく）

お電話で予約

- スタッフと直接話しながら予約できます。
- 受付時間は10:00〜19:00（休館日をのぞく）

やまぎん県民ホール ホームページからオンライン予約

- やまぎん県民ホール友の会「みんぐるメンバーズ」会員登録が必要です。
- 空席確認も座席指定もできる！
- 忙しくても大丈夫！ 24時間購入OK
- クレジットカード決済も可能

お電話・オンライン予約はチケット発券方法が２種類より選べます

- ホール事務室（手数料無料）※無料駐車場はございません。
- 全国のセブンイレブン（手数料1件につき162円＋発券手数料1枚につき110円）

チケット購入完了！ 当日をお楽しみに♪

やまぎん県民ホール友の会 「みんぐるメンバーズ」へ入りませんか？

入会金・年会費 無料

入会金・年会費は無料！ だけどお得な特典盛りだくさん！

登録はこちらから！

特典1	特典2	特典3	特典4
当館主催公演 チケットの先行予約	当館で開催する その他公演の先行予約 ※対象公演のみ	メールマガジン配信 公演情報、チケット発売情報など	その他ご優待サービス 協力店での割引など

「みんぐるメンバーズ」についてのお問い合わせ　**やまぎん県民ホール**　023-664-2220（9:00〜22:00）　※休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）および年末年始

やまぎん県民ホール

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-38
023-664-2220　023-664-2209
開館時間 9:00〜22:00
受付時間 9:00〜19:00（休館日をのぞく）
休館日 毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）および年末年始
https://yamagata-bunka.jp
@yamagata_bunka

【アクセス】JR 山形駅西口徒歩１分

【駐車場】県民べにばな駐車場
駐車可能台数：366台
（うち優先スペース８台分）
利用料金：最初の30分 200円
以後30分ごとに100円
1日上限1,200円（24時間営業）

※駐車可能台数に限りがあるため、公共交通機関または近隣の駐車場もご利用ください。

MiNGLe. やまぎん県民ホール広報紙 みんぐる Vol.3
2020年10月21日（水）発行

発行 山形県総合文化芸術館 指定管理者 みんぐるやまがた 023-664-2220

mingle（みんぐる）とは、英語で“混ざる・入り混じる・一緒にする”という意味。人・自然・文化など、山形のチカラがみんなぐるぐる混ざり合い、山形の未来に向けて挑戦していくという想いを込めました。

Vol.4は 2020年 12月20日（日） 発行予定

表紙の写真

エントランスから最初に目に入るブルーのじゅうたん。世界に誇る技術を持つ「オリエンタルカーペット」の作品で、ロビー空間とのつながりに配慮した色合いと、日本三大急流のひとつである最上川の壮大な流れを再現する曲線がポイントです。

やまぎん県民ホール 広報紙

MiNGLe. みんぐる

聲明（しょうみょう）入門

公演 PICK UP

あなたもわたしも やまぎん県民ホールマイスター 〜講演会編〜

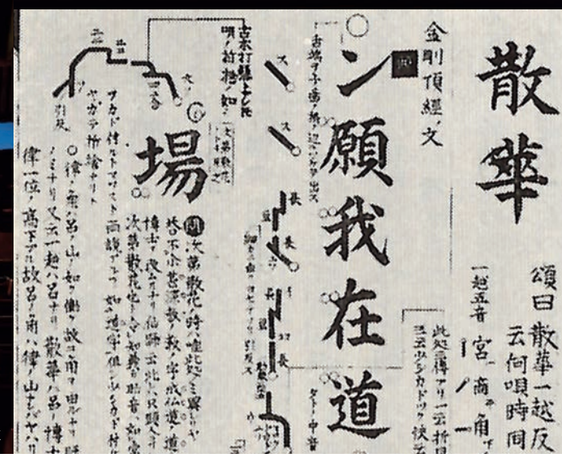
Vol. 3
2020.Nov.&Dec.

© KENJI KAGAWA

© KENJI KAGAWA

© MATHRAX

© KENJI KAGAWA



聲明（しょうみょう）“入門”

長い伝統と歴史を誇る、世界で最も古い宗教音楽“聲明（しょうみょう）”をご存知でしょうか。初めて聞いたという方もご存じの方も、このMiNGLe.で、少しだけ聲明の世界をのぞいてみませんか。

現代に広がる聲明

昨今は聲明を“コンサート形式”で行う公演を多く見かけるようになりました。特に東京などの首都圏では、発売直後にチケットが完売するほどの人気ぶりです。この聲明コンサートは、お坊さんによる“仏教に興味を持ってもらう目的”もありますが、聲明が独自の文化を育み、世界からも優れた芸術として評価されている点が大きく作用し、人々の注目を集めるジャンルとなりました。歌舞伎や能、落語などと同じく、日本文化を伝える芸能という立ち位置で、国内はもちろん、世界中でコンサートが開かれています（実は1966年の国立劇場の柿落（こけらお）としも、聲明公演でした）。近年はピアノや弦・管楽器などの西洋音楽とのコラボをはじめ、現代の作曲家による新しい聲明曲が作られるなど、新たな芸術として多くの人々を魅了しています。

日本に根付く音楽のルーツ

聲明は、仏教の寺院で僧侶が唱える宗教音楽です。お経にメロディが付いたもの、と考えるとわかりやすいかもしれません。声を使用する音楽なので、声楽に分類されます。西洋音楽の世界にも教会で歌う聖歌がありますが、こちらはキリスト教の宗教音楽。洋の東西は違えど、同じようなものが存在するのですね。

もともと“聲明”は、古代インドの学問のひとつ「言葉の学問」を指していました。一方中国や朝鮮では聖歌を意味する“梵唄（ぼんばい）”と呼んでいましたが、日本ではそれらが一緒になり、鎌倉時代初期から“聲明”という言葉が使用されるようになりました。日本において聲明は能や浄瑠璃、落語など、日本の古典芸能のルーツにもなっています。

長〜い歴史とその継承

聲明は仏教とともにインドから中国へ、そして6世紀中ごろに中国から日本へと伝播しました。日本における聲明のもっとも古い記録として残っているものは、なんと奈良・東大寺の大仏開眼供養での法要。752年のできごとです。千人を超える大衆が参列し、唄（ばい）、散華（さんげ）、梵音（ぼんのん）、錫杖（しゃくじょう）の四箇法要（しかほうよう）が国家を挙げて盛大に行われたことが『東大寺要録』に明記されています。

聲明はどこの宗派でもさかんに行われているわけではなく、主に天台宗と真言宗で相承されてきました。というのも、平安時代初期に最澄（＝天台宗）と空海（＝真言宗）がそれぞれ中国から聲明を伝え、それが礎となったため。そのほかにも独自に受け継がれる流派がいくつもあり、発声や記譜法（きふほう）（※楽譜の書き方のルール）などさまざまな違いが見られます。

またオーケストラや合唱では指揮者が全体をコントロールしますが、聲明にはその役割の人がいません。毎朝のお勤めや法要などを通し、互いの呼吸や間合いを聴きあって旋律や歌いまわしなどを覚えていきます。特別な訓練を積むというよりは、日常生活の中で何度も繰り返し唱えることで自然と身についていくものだそうです。

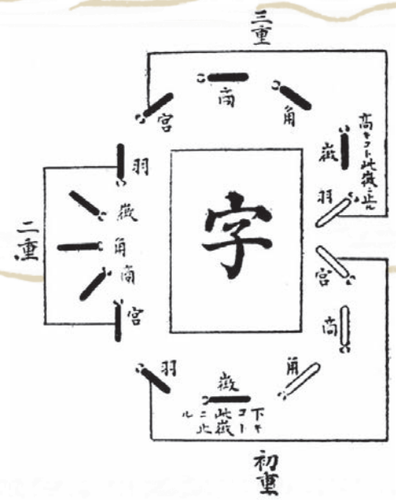
実際にどうやって習得していくの？

聲明は主に密教に分類される宗派で行われています。その性格もあり、当初は口頭で、のちに博士（はかせ）（※右上図参照）と呼ばれる楽譜と口伝により受け継がれてきました。これらの「博士」や教本をもとに、大部分は口伝で詳細を学ぶ記譜法が確立したことで、僧侶以外もある程度は聲明の奏法を知ることはできますが、口伝のみで伝わっている細かな部分も多く、やはり修行を積んだ僧侶が師から教えを受け継いでいくことが重要となります。

1472年には現存する年紀の明らかな印刷楽譜としては世界最古の『聲明集』が高野山で刊行され、聲明の普及がはかられました。文字の近くに記された点や線は旋律の動きを示し、『墨譜／博士』と呼ばれています。同時代の西洋音楽では、まだ五線譜の前身であるネウマ譜がようやく生まれたころ。ピアノの前身であるチェンバロですら15〜18世紀の楽器なので、聲明はいかに昔の形が現代まで継承されているかがうかがえます。

＊ ＊ ＊

やまぎん県民ホールでは2021年3月6日（土）に「祈りの声 奏でる聲（こえ）〜聲明コンサート《花びらは散っても花は散らない》〜」を開催予定。総勢30名の僧侶の“声”が重なり合い生み出される神秘的な響きを、この機に体験してみてはいかがでしょうか。



博士のひとつ「五音三重図」。白丸を出発点として音の高低を示している

➡ 公演の詳細は次のページをご確認ください。

【参考・出典】声明辞典（法蔵館：横道萬里雄 著・監修）、仏教音楽（音楽之友社：東洋音楽界 編集）

対談

ひとつの和歌が、心を動かした 聲明《海霧讃歎》の秘話

やまぎん県民ホールで公演予定の《海霧讃歎》は、現代に作曲された新しい聲明作品です。なぜこの作品が生まれ、演奏され続けているのかを演出家の田村博巳さんと作曲家の宮内康乃さんに伺いました。

海霧に
とけて我が身も
ただよはむ
川面をのぼり
大地をつつみ

作曲家
宮内康乃さん
Yasuno Miyauchi

東京学芸大学G類音楽科作曲専攻卒業。情報科学芸術大学院大学（IAMAS）メディア表現研究科修士修了。大学にて西洋音楽の作曲法を、大学院にてテクノロジーアートを学んだ末、人間の声や呼吸、身体といったプリミティブな表現に興味を持ち、楽譜を用いず身体の有機的なリズムが響きを紡ぎ出すような独自の作曲法にたどり着く。声のアンサンブルパフォーマンスグループ「つむぎね」主宰。また日本の仏教音楽「聲明」の作曲や、三味線、笙、正倉院復元楽器など日本の古典音楽の新作作曲にも取り組む。

演出家
田村博巳さん
Hiromi Tamura

1981年より国立劇場（日本芸術文化振興会）勤務。95年より静岡音楽館AOI企画会議委員。現在、国立劇場調査養成部長。民俗芸能、雅楽、聲明（仏教音楽）を中心に日本の伝統芸能公演を企画制作し、民俗儀礼や口頭伝承の研究に立脚した創作を舞台芸術作品として構成演出する。また古典芸能の保存・継承とともに、作曲家等と協同して、伝統の素材を現在の視点でとらえた意欲的作品を数々発表。スパイラル聲明コンサートシリーズ「千年の聲 Vol.1～24」（98～2016年）などで継続的に演出している。

新しい現代の聲明作品

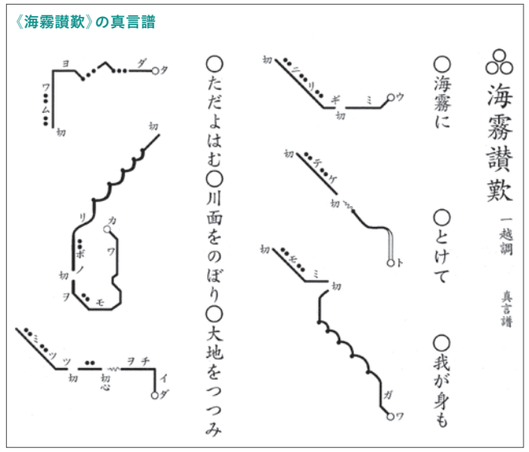
田村　《海霧讃歎》は東日本大震災で被災された方に対する供養が背景にあるのですが、震災の翌年、2012年に発表したものです。2011年3月11日の震災後、半年ほど経った頃に神奈川県立音楽堂から、新作聲明を含むコンサートの演出依頼を受けました。1980年代から、国立劇場では聲明の伝承曲の紹介と並行して、聲明僧侶の“声の表現力”に刺激を受けた現代の作曲家による新作を発表してきました。その後、1998年から青山のスパイラルを活動拠点として、スパイラル聲明コンサートシリーズ『千年の聲』をはじめ、神奈川県から委嘱のあった3作品を含めると、これまで25作品の新作聲明が初演されています。

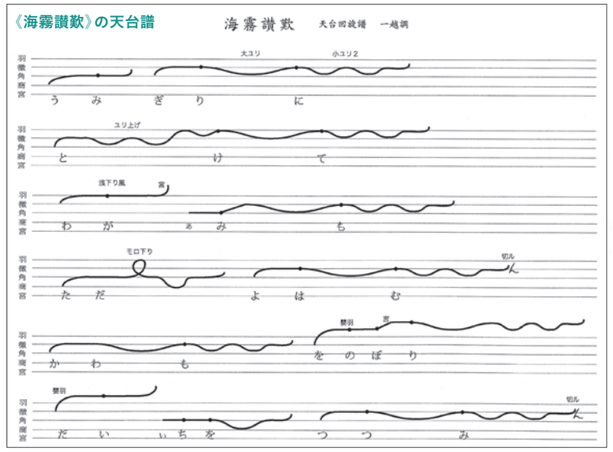
宮内　田村さんは長年聲明公演の演出をされていますが、主催ホールはできれば若手の作曲家に委嘱したいということで、私を見つけてくださいました。もともと呼吸や声の響きだけで音楽を作っていたので「向いているんじゃないかな」と感じてくださったのだと思います。学生時代に自分の表現を模索していた時に、声の倍音（※もとになる音の倍の周波数で振動している音）の魅力に気付いたんです。その流れで、非常に豊かな倍音の響きを持つ音楽を探していたら、聲明に出会いました。まさか何年かあとに新しい作品を作る機会をいただけるなんて思ってもいませんでしたね。

『海霧に とけて我が身も ただよはむ 川面をのぼり 大地をつつみ』（佐藤淳子）

田村　打ち合わせを進め、どういった内容の作品がこの時期に必要なのかを模索していく中で、宮内さんから提案されたのがこの和歌でした。震災でお亡くなりになられた、岩手県陸前高田市に住んでいた方の歌です。

宮内　《海霧讃歎》のテキストになっているこの和歌との出会いを少しお話すると、ちょうど震災から半年経った頃、ある東京のギャラリーで公演の機会があり、そのリハーサルに向かった会場で、震災の体験を短いドキュメンタリー映像にまとめた作品と出会いました。その作品の中に、この和歌が出てきたのです。会場にいらした作家さん（和歌作者のご子息）と、その場でお話をする機会を得ましたが、震災後多くの報道を目にはしても、実際にご家族を亡くされた方と直接お話することはとても強いインパクトがありました。またご子息が、和歌の意味を「母は生前より、人間は自然から生まれて、いつか自然へと還っていくという思想を持っていたから、そういうことを歌った歌だと思う。今回のことはとても悲しいけれど、きっと母は自然に還っていったのだと思っています」とおっしゃったことに非常に感銘を受けました。さらにその後、私たちの声のリハーサルをずっと聴いていてくださって、「声の力に救われた気がする」と言われたことに衝撃を受け、音楽や歌は祈りの行為そのものであると気づかされたのです。その直後に聲明の作曲のお話をいただき、まるで運命に導かれるようだと感じました。そして、新作曲の真髄となるテキストを考えた時に「あの和歌しかない！」と思い、ご子息から許諾をいただき、この《海霧讃歎》が生まれました。ご家族にとって大切な和歌、そして亡くなられた多くの魂の弔いという大きな使命に精一杯応えねばと、真剣に向き合いました。





真言譜は「新仮博士」という新しく開発された譜で書かれている。天台譜は五線譜的に書かれた「回旋譜」と呼ばれるもの

新しい“聲明曲”

宮内　“お坊さんの声を使った新しい音楽”ではなく、新しい“聲明曲”として作りたかったので、譜面も博士を使用しています。真言宗は力強くて男性的、天台宗は優美で女性的と、それぞれ異なった特徴を持っているので、その特徴をそのまま生かした旋律を作るよう心がけました。

田村　それぞれの宗派の特徴的な旋律の型をうまく活かして構成しているので、宮内さんのパートを聞いても、新しい音楽が突然出てきたという感じはまったくしませんね。

宮内　お坊さんたちがなるべく違和感なく唱えられる旋律が、やはり本領発揮できますよね。

田村　その旋律も、和歌のたった31文字を使って20分の作品を作っていると。

宮内　この31文字の和歌をもとにした旋律を、天台、真言それぞれが繰り返し唱えることによって構成され、それが重なったりずれたりしながら響きがどんどん変化していきます。唱える旋律は古典に近く、違和感なく唱えられるものですが、それを独自のルールによって構成していくことで、古典とはまったく違う新たな響きが生まれるように作曲しました。そして、その独自のルールが、私のスタイルである、呼吸や動きを起因にした、楽譜に書き表せない自然の流れやズレを活かした作曲法です。

田村　宗派というものはその宗派ができて以降、ほとんど宗派同士の交流がないそうです。独自の伝承を続けてきたので、同じテキストでも唄い方がまったく違います。本公演は、四箇法要（しかほうよう）の荘厳な形式を踏まえ、天台宗と真言宗のふたつの宗派の聲明がそれぞれ唄（ばい）、散華（さんげ）、梵音（ぼんのん）、錫杖（しゃくじょう）の聲明曲を交互に唱えるよう構成しています。中心部に現れる《海霧讃歎》を挟んで、ふたつの聲明が全体を包み込むようにして入れ替わります。さらに終曲部では、皆さんにも馴染みのある般若心経の「色即是空空即是色（しきそくぜくうくうそくぜしき）」と、念仏の「南無阿弥陀仏」の読経が《海霧讃歎》と呼応するように構成しています。

宮内　同じテキストなのに、まったく違う唱え方をしているものが交互に聴けるという楽しみもあります。少しお得感があるかもしれません(笑)。

田村　普通のお寺では、複数の宗派が仲良く唱えることはしませんからね（笑）。

まずは体感してほしい！

宮内　とにかく響きが壮大なので、それを体感していただくのが一番かな。古くから歌われている宗教音楽として、聲明は“東洋のグレゴリオ聖歌”とも言われますが、日本にこんなに豊かな合唱の響きがあるということを知ってもらいたいです。30人ものお坊さんが集まるので、お寺に行けばいつでも聞けるものでもありません。また《海霧讃歎》は音楽ホールという空間を活かし、CDや映像では感じられない立体音響を味わう作品でもあるため、ぜひ生で体感してください。山形で体験できるのはなかなかレアな機会だと思いますよ。震災関連でなくても、昨今は疫病をはじめ誰もが心に不安を持っているのではないでしょうか。この公演を聴いて少し心が軽くなったとか、そういう機会になればうれしいです。

公演情報

祈りの声 奏でる聲（こえ） ～聲明コンサート《花びらは散っても花は散らない》～

2021年3月6日（土）　やまぎん県民ホール 大ホール

【出演】声明の会・千年の聲［七聲会（天台聲明）、迦陵頻伽聲明研究会（真言聲明）］
【曲目】四箇法要〈花びらは散っても花は散らない〉附 宮内康乃：《海霧讃歎》

【料金】未定

みんぐるメンバーズ限定　先行発売期間 ● 12月9日（水）10:00～11日（金）23:59
一般発売 ● 12月12日（土）10:00～

※先行発売はインターネット購入のみ　※みんぐるメンバーズ（無料）は当館ホームページからご入会いただけます。
※一般発売初日は電話・インターネット購入のみ。窓口販売は12月13日（日）10:00～です。

公 演
PICK UP

※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございます。
※公演中止の場合をのぞき、チケットの変更・払い戻しはいたしません。
※託児サービス（事前予約制）あり。詳細はホームページをご確認ください。
※X 席は舞台が見えにくい場合があります。

今年のクリスマスは、マーシャと一緒に旅をしよう！

東京バレエ団『くるみ割り人形』 全２幕

12/19 土 13:30 開演　大ホール

ロシアの巨匠チャイコフスキー作曲の三大バレエ、そのひとつが『くるみ割り人形』です。初演から100年以上経過していますが、実は定番となる演出や振付が存在しない演目としても有名。これまでも劇団ごとにさまざまな解釈で演じられてきました。東京バレエ団がお届けする今回の公演のキーワードは“クリスマスツリー”。本公演の演出家は、実際にツリーの中をのぞきこんで、演出のインスピレーションを受けたそうです。ツリーのオーナメントのように、色鮮やかで幻想的な舞台セットや衣装の数々は、観ているだけでもワクワクすること間違いなし！ ヨーロッパのおとぎ話を題材とした本作は、お子さまはもちろん、初めてのバレエ鑑賞としてもおすすめです。この冬はやまぎん県民ホールでクリスマスツリーの世界を体験しませんか？

©Kiyonori Hasegawa

©Kiyonori Hasegawa

【出演】
マーシャ（秋山 瑛）
くるみ割り人形（宮川新大）
東京バレエ団 ほか
山形交響楽団（管弦楽）

©Nobuhiko Hikiji
秋山 瑛

©Nobuhiko Hikiji
宮川新大

チケット販売情報

料金【全席指定】 S 席 9,000円　A 席 7,000円　B 席 5,000円　X 席 完売

※25歳以下の方：S～B席の各席種50%割引
※5歳以上入場可

新たな年を華やかなウィンナ・ワルツで祝うコンサート

やまぎん県民ホール ニューイヤー・コンサート2021 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

2021/1/11 月・祝 14:00 開演　大ホール

歴史あるウィーンのオーケストラとバレエ団によるニューイヤー・コンサートが、山形で初開催されます。演奏はオペレッタの殿堂として名高い、ウィーン・フォルクスオーパー専属の交響楽団「ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団」。さらに、ウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団「バレエ・アンサンブル SVO ウィーン」が舞台を盛り上げ、華やかなダンスを披露してくれます。新年を彩るにふさわしいこのコンサートを、やまぎん県民ホールで味わってみませんか？ ニューイヤー・コンサートの大定番〈美しく青きドナウ〉をはじめとしたテンポの良いウィンナ・ワルツや、喜歌劇《こうもり》より〈序曲〉など、楽しくて煌びやかな曲も数多く演奏されますよ！

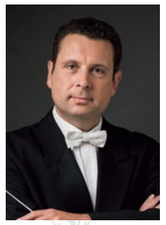
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団

【出演】
エリーザベト・フレヒル（ソプラノ）、メルツァード・モンタゼーリ（テノール）、グイド・マンクージ（指揮）、ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団（管弦楽）、バレエ・アンサンブル SVO ウィーン

【曲目】
ヨハン・シュトラウスⅡ世：喜歌劇《こうもり》より〈序曲〉、喜歌劇《騎士パーズマーン》より〈チャールダーシュ〉、〈皇帝円舞曲〉、〈美しく青きドナウ〉／ドヴォルジャーク：〈森の静けさ〉／レハール：喜歌劇《ほほえみの国》より〈ああ、恋をしたい〉〈私たちの心にだれが恋を沈めたのか〉／ヨーゼフ・シュトラウス：〈小さな水車〉／スッペ：喜歌劇《軽騎兵》より〈序曲〉／ブラームス：ハンガリー舞曲 第５番 ほか

エリーザベト・フレヒル

メルツァード・モンタゼーリ


グイド・マンクージ

チケット販売情報

料金【全席指定】 S 席 7,000円　A 席 5,500円　B 席 4,000円　X 席 2,500円　S席ペア 12,000円

※未就学児入場不可

あなたもわたしも♪
やまぎん県民ホールマイスター 4 講演会編

やまぎん県民ホール……大きな建物だけど、ホール以外には何があるの？ 利用するにはどうしたらいいの？ こんな目的で利用したいんだけど、適したお部屋はあるかしら……利用者の皆さんの疑問やお悩みを解決します！

1,000名ぐらいが参加する講演会を予定していますが、2,001席の大ホールでは席が余ってしまいますよね？

B助さん

終了後に参加者との交流会も行いたいのですが

B助さん

人数に合わせてのご利用が可能ですよ。大ホール1階席のみでのご利用はいかがでしょうか？ 1階席は1,286席です

スタッフ

大ホール講演会利用

スタジオ1のご利用はいかがでしょうか？ 立食式なら108名まで可能です。大ホールと同時間帯でお借りいただければ、参加者の荷物置き場としても便利ですよ

スタッフ

施設概要

大ホール：定員2,001名

料金シミュレーション ※税込
【平日 13:00～17:00 利用の場合】

大ホール（1階席のみ）	：37,200円
●舞台・音響・照明設備	
演台 ：650円　吊看板：500円	
司会者台 ：330円	
拡声装置（ダイナミックマイクロホン1本付き）	ほか ：6,460円
ボーダーライト×2列	ほか：19,380円
●冷暖房	
1階席のみ利用	：25,560円
施設利用料金合計	90,080円

※料金は一例です。詳しくはお問い合わせください。

やまぎん県民ホール 託児室のご案内

やまぎん県民ホールでの各種イベントにご参加の方以外でもお申し込みいただけます！

※ご予約の際に本人・ご家族の連絡先が必要です。
※送迎の際は無料駐車場をご利用いただけます。

こんな時に…
たまには夫婦で出かけたい
美容室に行っている間に預かってもらいたい
コンサート中に子どもを預かって欲しい

＼ やまぎん県民ホール 託児室は、パパやママをサポートします!! ／

対象年齢　生後６カ月～就学前
定　員　先着９名
営業時間　9:00～17:00
料　金　500円／１時間
※有料利用施設をご利用、または当館で開催される各種イベントにご参加のお客様に限り、最大 22:00 までご利用いただけます。
休 業 日　やまぎん県民ホール休館日〈毎週火曜日（祝日の場合はその直後の平日）および年末年始〉に準じる
予約期間　利用日２カ月前の月の１日～利用日の 10 日前まで
ご予約・お問い合わせ　やまぎん県民ホール
023-664-2220（休館日を除く 9:00～22:00）